TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

信仰から繁栄へ　コロサイ人への基本事項 クリスマスの意味　その1
コロサイの信徒への手紙　3:5－11

2024 年 12 月 14&15 日
ジェシー・マーク・セザリオ　牧師

礼拝にご参加されている皆様にご挨拶いたします。TBC ウエスト トウキョウ、TBC 三郷、スバとトンガのバプテスト教会の皆様にもご挨拶いたします。私たちの主であり救い主であるイエス・キリストの恵みが今日あなた方とともにありますように。
祈りましょう。

はじめに
今日は 5-11 節 を見ていきます。そして、主の御心であれば、2 週間後に 12-17 節を見ます。今日のメッセージは、1 つのメッセージの前半部分です。メッセージの中で聖書を読み上げますが、その前に…
最初に戻りましょう。「はじめに、神は天と地を創造された…」これは私たちが知っている物理的な世界の始まりです。そして、創世記には命の誕生が記されています。神は命あるものを一日ごとに創造し、それぞれを「良し」と宣言されました。人間が創造された日には「非常に良し」と言われました。
しかし、そこから私たちの時代に至るまでの間に何かが変わりました。良かったものが悪くなったのです。それは人間の罪によるものであり、私たち全員がその罪を犯しています。
ですから、私たちの神である主はすべてを再び始めることを決められました…
しかし、主の日は盗人のようにやって来ます。その日、天は激しい音を立てて消えうせ、自然界の諸要素は焼け崩れ、地とそこで造り出されたものも焼けてしまいます。(ペトロ二 3:10)
通常、すべてのもののパターンは、まず誕生があり、その後に命が続きます。しかし、見ての通り、これは神の計画ではありません。むしろ、神はまったく異なることを行っています。新しい命は、死の後に始まるのです。

見よ、私は新しいことを行う。／今や、それは起ころうとしている。／あなたがたはそれを知らないのか。イザヤ 3:19

これは私たちがイエス・キリストの福音の中で知る真実です。
さて、だれもが真の問題が何かを知っていると思います。
信仰者として、私たちは皆この壊れた世界で生きようと歩み続けています。私たちは、今この瞬間にもこの壊れた世界に足を取られ、神に向かってうめきながら、「もう着いた？」と問い続けています。苦しみが終わることを願っています。

ですが、安心してください、必ず終わります。主の日が近づいており、すべてが正される時が来るのです。それは確実に来ます！
アーメン。

黙示録 21:4b-5a で、ヨハネはこのように書いています。
4b もはや死もなく、悲しみも嘆きも痛みもない。最初のものが過ぎ去ったからである。5a すると、玉座におられる方が言われた。「見よ、私は万物を新しくする。」
パウロは手紙の冒頭で、主の日が来るまでの間に何が起こることになるか教えています。
コロサイ 1:28
このキリストを、私たちは宣べ伝え、知恵を尽くしてすべての人を諭し、教えています。それは、すべての人を、キリストにある完全な者として立たせるためです。
これはパウロがコロサイの教会に対して一生懸命伝えている目標であり、また、すべての牧師が教会で目指す目標、つまり、主の日に、すべての人をキリストにおいて完全にすることです。(エフェソ 4:11-13)

しかし、誰が完全になれるのでしょうか？　周りを見て、特に自分自身を見て、私は思います。「これは無理だ！　誰も完全になれない」
この難しい問題に答えたいと思います。神の言葉によって、完全な人とはどのような人で何をするのか。神に受け入れられ、喜ばれる完全な人とは。
確認事項
コロサイ 3 章は実践的なクリスチャン生活について重要な章です。パウロが 1 章と 2 章で築いた神学を受けて展開されます。この神学は、キリストを信じる者がどのように行動すべきかの導入部分です。ですので、パウロがこの手紙にこれまで書いたことを確認する必要があります。

この手紙の基本アウトライン
1. 挨拶と励まし(1 章)
2. キリスト論(イエスについての神学または讃美)(2 章前半)
3. 聖書的な弁明(弁解)(2 章後半)
4. 礼拝(3 章最初の 4 節)
簡単に言うと、パウロがメッセージアプリで彼らに送ったとすれば、こんな感じです。
こんにちは、パウロです！　神に賛美を！…イエスを信じることで福音により人生を変えられたあなたは神の民に加わりました！
ところで、イエス・キリストは素晴らしい存在です。神だからです。イエスはすべてを新しくし、あなたの一生を支配していた敵は、もう終わりです。他の哲学や宗教的な規則に惑わされないで。そんなものは無意味です。ただ、上を見上げてイエスを礼拝しながら待ちましょう。イエスが戻ってきて、すべてを素晴らしくするのを、もちろんあなたのこともね！

そして、最後のポイント、アウトラインの 4 番目が、今日私たちが特に注目する最も重要な点です。「礼拝」です。
礼拝はすべての「～学」の中で最も重要です。礼拝はすべての霊的訓練の集大成です。たとえば、聖書神学、歴史神学、実践神学、体系神学、…そして体系神学の各研究分野、例えば救いの学問(救済論)、聖霊の学問(聖霊論)、教会の学問(教会論)、宣教の学問(宣教学)、終末の学問(終末論)、キリストの学問(キリスト論)などがあります。
礼拝が正しく行われるとき、これらすべて、そして私が触れなかった他の多くの学問が適切に関連し、共に働きます。これは信仰者が天を見上げているときに起こります。

さて、TBCのメンバーならキリストの弟子です。なぜなら、ここ鉢山町9-2で主イエス・キリストを礼拝するキリストの体に加わっているからです。

真理にあって礼拝する神殿
5 だから、地上の体に属するもの、すなわち、淫らな行い、汚れた行い、情欲、悪い欲望、および貪欲を殺してしまいなさい。貪欲は偶像礼拝にほかなりません。6 これらのことのために、神の怒りが不従順の子らの上に下るのです。7 あなたがたも、以前このようなものの中に生きていたときは、そのように歩んでいました。

パウロはコロサイの信徒たちに姦淫、汚れ、情欲、悪しき欲望、そして貪欲を死に至らせるように命じています。聖書の中では貪欲、すなわち他人の配偶者、または神が与えていないものへの欲望は偶像礼拝、神以外のものを礼拝することだ明らかです。
しかし、他の言葉、「姦淫、汚れ、情欲、悪しき欲望」はどうでしょう？ 最初の単語はギリシャ語で「ポルネイア(porneia)」です。この言葉が他の言葉の根源となっています。つまり、これらの言葉はすべて、神の定義する結婚の枠組み外での性行為や性的欲望に根ざしているのです。神の定義による結婚とは、一人の男性と一人の女性が神の前で生涯を共にするという性の契約です。

バーナ・グループというクリスチャンの調査会社が、数ヶ月前にポルノ使用に関する調査結果を発表しました。それによると、クリスチャンの半数以上がポルノを見ていることが報告されています。半数以上…つまり、大多数です。教会内での新しい常識と言えるかもしれません。
しかし、なぜこれはそんなに悪いのでしょう？ 何かしたわけじゃないし、単なるデジタル画像じゃないですか。
少し視点を変えてみましょう。
もし、私たちの教会内でそんな画像を公開したらどうなるでしょう？ 大きな反発が起こるでしょう！
実際、なぜ問題なのか明確な説明は難しいかもしれません。この反発は、善意から出るものですが、なぜでしょうか？
(はい。これってクリスマスメッセージじゃなかった？ と思っていますよね。クリスマスの意味では？ わかっています。しかし、今日の聖書箇所にこの点が出てきます。難しい内容ですが、必要なことです。今日のメッセージにすべて関係しているのです。)
さて、イエスが言った言葉を覚えていますか？ 目は何に光を与えるものでしょうか？ あなたの体です。そして、パウロは、性的な罪に関して、私たちの体は…神の神殿だと思い出させています。

今、ポルノに見られることと同じことが、古代の異教徒の神殿で儀式で行われていました。それがその社会の常識であり、地元の人々や訪問者の前でしばしば公開されていました。基本的なエンターテインメントや金儲けの手段でした。
今、インターネットで見ることができるものとあまり変わりません。
さて、ポルノを意図的に見ることで、実際にはあなたは神の家を汚していることになります。あなたは邪悪な光が自分の中に、そして神の聖なる神殿であるあなたの中に入り込むのを許しているのです。そのようなものはそこにあるべきではありません。神の神殿であるあなたに持ち込むべきではありません。なぜなら、悪魔的な礼拝や儀式を神殿の中に入れることになるからです。
ポルノと性的な罪をあなたの生活から取り除かなければなりません！
これは真実です！ 神の言葉は、神が地上に下す怒りの理由はそんな歪んだ行いによるものだと言います。そして、パウロも6節で教えています。

聖書のどこにも、神の怒りが信仰者に注がれるとは書かれていません。
だからこの真実を覚えておいてください。神の怒りは信じない者、主イエスを信じて礼拝しない者に対して注がれます。なぜなら、救いは私たちの救い主、主イエス・キリストにあるからです。

さて、信仰者の皆さん、もしこの不道徳に関与しているなら、逃げなさい。
もし戦いに敗れたなら、悔い改めなさい。
もし戦いに敗れ続けているなら、教会の他のメンバーや牧師に助けを求めなさい。
そして教会の皆さん、私たちはこのような人々を愛をもって助け、彼らの信仰が暗礁に乗り上げないよう支えなければなりません。

ガラテヤ 6:1
きょうだいたち、もし誰かが過ちに陥ったなら、霊の人であるあなたがたは、柔和な心でその人を正しなさい。あなた自身も誘惑されないように、自分に気をつけなさい。

教会として私たちは、お互いにこのように励まし合うべきです。
また、これが難しい課題だと私も理解しています。どうすればよいのか、と思うかもしれません。まず、パウロが始めたように、人々に来るべき怒りの理由を思い出させることです。怒りは救い主を信じていない者たちに向けらます。しかし、ここで一つ加えるべきことがあります。それは、罪に囚われた人々が完全になるように導くことも必要です。

この聖句を見てください。
47b:異邦人でも、同じことをしているではないか。48:だから、あなたがたは、天の父が完全であられるように、完全な者となりなさい。マタイによる福音書 5章47b-48
あともう少しです……

霊によって礼拝する神殿
8: しかし今は、そのすべてを、すなわち、怒り、憤り、悪意、冒瀆、口から出る恥ずべき言葉を捨てなさい。9: 互いに嘘をついてはなりません。古い人をその行いと共に脱ぎ捨て 10:新しい人を着なさい。新しい人は、造り主のかたちに従ってますます新たにされ、真の知識に達するのです。11:そこには、もはやギリシア人とユダヤ人、割礼のある者とない者、未開の人、スキタイ人、奴隷、自由人の違いはありません。キリストがすべてであり、すべてのものの内におられるのです。
これらの聖句でパウロが用いた言葉「ἀποτίθημι(アポティテーミ)」は、興味深い文化的背景と意味を持っています。
この言葉は「自分から何かを脱ぎ捨てる」という意味で使われています。たとえば衣服のようなものを脱ぐイメージです。
当時、礼拝の準備のために衣服を脱ぎ置く行為は一般的でした。特に、神殿で礼拝する前に。不適切とされる服装がありました。

例え話
私が子どもの頃、カトリック系のセント・トーマス校に通っていました。4年生の夏に学校から親に手紙が来ました。その年から、こ

れまで白だけだった男子のシャツが水色もよいことになったという内容でした。
その知らせはとても嬉しかったです。白シャツと紺のズボンは、もう古臭い感じだったのです。さらに父も喜びました。4年生ならつけてしまうシャツのシミを漂白する手間が減るからです。
新学期初日、私は新しい水色のテニスシャツを着て登校しました。それはとても質の良いシャツで、気に入っていました。
しかし、その日の終わりに父宛の手紙を受け取りました。そこには「半袖のテニスシャツの場合は認められるのは白だけです。長袖でしたら、今後水色でも結構です」と書かれていました。
父は、特注か何かの高価なシャツにお金をかけたことに愚痴を漏らしていました。どうやら、高かったうえに返品できなかったようです。結局、前年の古い白シャツをまた着ることになりました。
しかし1週間ほどして、同じブランドの新品の白シャツが家にありました。水色のシャツはなくなっていました。
これは私の推測ですが、おそらく父が漂白して白くしたのだと思います。それらは「雪のように白く」なり、学校の規則に適したものとなりました。

つまり、ただ真理を知り、神の怒りが訪れることを知っているだけでは、神を礼拝することができないのです。イエスは、神の言葉を知り、学ぶだけでは半分に過ぎないと言っています。
イエスはヨハネ4:24で教えています。「神は霊である。だから、神を礼拝する者は、霊と真実をもって礼拝しなければならない。」

ここで鍵となるのは「～しなければならない(MUST)」という言葉です。霊と真理の両方をもって礼拝〝しなければならない〟のです。

霊において礼拝を始めるのは、たとえ小さくても物事を自分から取り除いて(アポティテーミ)からです。物事とは、神の神殿であるあなた自身の中にある、神の霊を悲しませるようなものです。

これが、真理だけでなく、霊においても主のもとに来る方法です。

パウロは、大抵の人が重大な罪に対処できることを知っています。しかし、小さな罪こそが積み重なり、やがて大きな罪となって、あなたの人生における霊の炎や力を消してしまうのです。

あなたは多くの作物が実る畑です！ 種をまく方があなたに種を蒔かれました。神の完全な御心において霊的に健やかに成長するか、霊的な飢饉の中で成長しないか。良い実を結ぶのはどちらでしょう？
ですから、小さな罪も取り除きましょう、信仰者のみなさん。それは怒り、憤り、悪意、中傷、不純な言葉、そして嘘です。

ローマ12:1 こういうわけで、きょうだいたち、神の憐れみによってあなたがたに勧めます。自分の体を、神に喜ばれる聖なる生けるいけにえとして献げなさい。これこそ、あなたがたの理に適った礼拝です。

ところで、先ほどの言葉で「嘘」が独立した扱いを受けていることに気づきましたか？ なぜか考えたことはありますか？
ご存じの通り、サタンは「嘘の父」です。そして、サタンや悪霊たちはイエスが誰かの真実を知っています。イエスが現れると、主だと認識し、「神の子、構わないでくれ。まだ、その時ではないのにここに来て、我々を苦しめるのか。」(マタイ8:29)と叫びました。
サタンと悪霊たちはイエスを知り、恐れ、来るべき怒りの時を理解しています。それにもかかわらず、彼らはイエスを礼拝することを拒みます。
しかし、他のすべての御使いたちは礼拝します：
申命記32:43 諸国民よ、主の民に喜びの声を上げよ。／主はその僕の血に報復し／その敵に復讐し／その民、その土地を清められる。

さて、あなたはどうでしょうか？ どのような立場にいますか？ ここで少し立ち止まり、これまでに学んだことを考えてみましょう……。パウロが、神を礼拝する前に完全に罪のない状態になり、完全に従順である必要があると教えているように思えるかもしれません。
そして、多くの人がここでつまずくのです。特に自分自身を見つめたときに。完全のために欠けている部分を埋めるために、さまざまな方法で神を喜ばせようとし始めます。例えば、聖書をもっと勉強する、聖書の研究会に参加する、教会にもっと献金する、親切な行動を増やす、奉仕を増やす、祈りを増やす……どんどん犠牲を増やします！
イエスはこう言っています。「私が求めるのは慈しみであって、いけにえではない』とはどういう意味か、行って学びなさい。私が来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためである。」マタイ9:13
イエスが探しているのは正しい人ではなく、彼を礼拝する罪人です。そして、どんなに犠牲を払っても、結局うまくいかないですよね。
実際、そのような努力を続けると最後には疲れ果て、どこかの浜辺で打ち上げられた船のように途方に暮れるだけです。

しかし、ここで注目してください……復活したイエスが現れた弟子たちは、イエスを疑ったり否認したペテロも含め、不義で罪深い者たちでした。マタイ28:9にこう書かれています。「すると、イエスが行く手に立っていて、「おはよう」と言われたので、女たちは近寄り、イエスの足を抱き、その前にひれ伏した。」

また、ヨハネ9:38-39では、目の見えない人が、罪人であるにもかかわらず癒され、こう言いました。38 彼が、「主よ、信じます」と言って、ひれ伏すと、39 イエスは言われた。「私がこの世に来たのは、裁くためである。こうして、見えない者は見えるようになり、見える者は見えないようになる。」

結論
さて、こう思うかもしれません。「結局どっち？ 主を礼拝するために完全である必要があるのか、ないのか？」
聖書を通して見つけたのは、「因果関係のジレンマ」と呼べるものだと思います。
因果関係のジレンマとは、明らかに何かが存在しているものの、どちらが先なのか分からない状況を指します。たとえば、よく知られている「鶏と卵」の問題です。同じように神学においても、「神があなたを選んだのか、それともあなたが神を選んだのか？」という問いがあります。
こうした考えを追求し始めるとどうなるでしょうか？ 無限のループに陥ります。理由の次の理由、そのまた次の理由と、終わりのない原因の連鎖が続くのです。

しかし、あえて言うと、その果てにたどり着くのが、「クリスマスの意味」です。なぜなら、あなた自身が主なる神を見つめていることに気づくからです。

そこにたどり着くのは素晴らしいことです。そこであなたは主イエス・キリストがすべてであり、すべてのものの内におられるお方として見るからです。あなたは最も聖なるの神の祭壇の前で、神の小羊の血によって義とされた者としてただひれ伏し、礼拝することだけができるのです。
今日の聖句の重要な部分は冒頭の小さな言葉です。パウロが書いた鍵となる言葉は「だから（therefore）」です。
この言葉が示すのは、「何かが起こったからこれが起こる」ということです。パウロは「あなたは、まず心を上なるものに向け主を礼拝しなさい。そうすることで、聖くされ、霊と真理によって主を礼拝できるようになる」と言っています。
私たち TBC の家族（教会）にとって、主を礼拝することは最優先事項であるべきです。それは、教会や神のために行うあらゆることの中で最も重要なものです。だからこそ、教会として、礼拝を導く牧師のために祈り続ける必要があります。
しかしそれ以上に、個人レベルで言えば、礼拝はあなたの人生において最優先されるべきことです。たとえ自分が完全ではないと感じるときであってもです。
怒りを感じたとき、代わりに主を礼拝しなさい。
復讐したいと思ったとき、代わりに主を礼拝しなさい。
誰かに怒鳴ったり、失礼なことを言いたくなったとき、代わりに主を礼拝しなさい。
邪悪な欲望や罪が心の中で湧いてきたとき、代わりに主を礼拝しなさい！
パウロはこんな風に言います。「私はすでにこれを得たのではなく、すでに完全にされたのではありませんが、キリスト・イエスが私を得るために掴まえたものを得るために、私は前進し続けます。」フィリピ 3: 12-15（牧師要約）
これが、私たちの主であり救い主の到来を祝う理由です。彼は完全な人のために来たのではなく、不完全な私たちのために来てくださったのです。
そして、ここでの主な適用はこうです。すべてを脇に置いて、主を礼拝しに来なさい。そうすれば、主がすべてを完全にしてくださり、あなたも完全にされます。
「だから」あなたは霊と真理によって主を礼拝することが「できるようになります」。

これが、イエスが私たちのところに来てくださった理由です。ユダヤ人だけでなく、ギリシャ人だけでなく、すべての人々のために、この地のすべての民族のために。すべての人々が良い知らせを聞く必要があります。これがクリスマスの意味です。私たちが主を礼拝する意味です。

神の怒りも分かち合いましょう。しかし、何よりも、私たちが救い主イエス・キリストにおいて持っている救いを分かち合いましょう。すべての栄光は主にあります！　イエス以上に尊い名はありません。

招き
イエスはある女性に言われました。「あなたがたは知らないものを礼拝しているが、私たちは知っているものを礼拝している。」
あなたは完全にされたいですか？
「さあ、論じ合おう。」と主は言われます。「あなたがたの罪がたとえ緋のようでも／雪のように白くなる。／たとえ紅のように赤くても／羊毛のように白くなる。」（イザヤ 1:18）
すべての完全でないものに怒りが注がれます。
もし私たちが礼拝するお方によって救われたいならば、どうぞ神の御子イエス・キリストを信じてください。

「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。御子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」（ヨハネ 3:16）

祈りましょう。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書　協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg5124jp

★クラス 301
私の賜物ってなんだろう？
2025 年 1 月 19 日（日）1pm - 5pm
場所: ランゲホール（B1）
参加条件: クラス 201 まで修了し、TBCメンバーの方
https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu